
死者への手向け

豚のカクニ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死者への手向け

【Nコード】

N3225J

【作者名】

豚の力クニ

【あらすじ】

第一弾から第四弾まである、短編小説集です。

連鎖殺人（前書き）

この作品は、「死」を多く取り扱っております。（残酷な描写ではありませんが）

気分を害されるかたは、戻るボタンを押すことを推奨します。

連鎖殺人

俺は都内でも有数の某N高校に通っている高校生。それでも一応、人間的に平均よりも結構上だとは思っている。異論は許さん。

ちなみに、趣味は読書。特技はとくになし。

適当に学校へ行き、適当に勉強をして、適当に群れて帰る。

そんな平均よりちょっと上の俺にも、好きな女子がいる。名前は笠間 俊子。活発で、頭もいい。

俺「あれ？俊子、最近痩せた…？」

俊子「えっ そうかなあ…？ね、それよりさ」

俺「どうした？」

俊子「好きな人っている？」

俺「ぶっ…：まあ、いるけど？」

俊子「えーっ！ 誰？ 誰なのっ!？」

俺「（気づけて…）教えない！」

俊子「え、私の知ってる人？ねえ、言つてよ！」

俺「…言いません！（俺の馬鹿 orz）」

俊子「ええー！残念だなあ…。あ、じゃあここで！」

俺「ん？どっか行くの？」

俊子「ちよつと欲しい本があつてさ！また明日！」

俺「あっ…ああ。また明日。」

3日前には、こんな馬鹿話をしていた。

見て分かるとおり、俺だつて平均くらいの恋をしている。いや、していた。

でも、こんな会話することは、もう出来ない。

彼女は自殺した。

昨日、葬式が坦々と終わり、今日になってやっと実感がわいてきた。俺は、ほとんど食えることさえ出来なかった。

一週間がたち、僕は彼女の生前すんでいた家を訪れた。

俺の顔を見て、彼女の母親は驚いていた。平均より下に見られても仕方がない。俺は痩せこけていた。

母親は、俊子のことを話してくれた。とても つらそうだった。

自分の部屋で首を吊って自殺をしていたこと。

好きな男子がいたらしいこと。

何故自殺をしたのかはわからないこと。

勉強机には大量の自殺に関する本が置いてあったこと。

遺書はなかったこと。

自分には何かなんだか分からなかった。何故・・・としか言えなかった。

そして、ある結論に至った。

「自殺した理由を知ること」

これが生きている俺が俊子のために出来ること。

「男に振られたんじゃないの」「勉強に行き詰ってたんじゃない？」
「それより、お前も勉強したほうがいいぞ。」「本とかインターネットとかあるんだし自分で調べろ」

俺の友達はそんな返答ばかりだった。役立たずが。言われなくても自分で調べてやる。

全財産をはたいた。どうしても知りたかった。それほど彼女を愛していた。

そんなのは愛じゃない。なんて言う人も多いだろう。だけれど、これが俺のできる最大のこと。

調べてから約3日が経つ。

「これだ……」俺は思わず声を上げた

その本には『死後の世界』とあった

某K高校の生徒の話。

「なあ、お前この話知ってるか」

「なんだよ、早く言えよ」

「都内の高校で、数年前に連鎖自殺が起こったらしいんだ」

「連鎖自殺・・・？」

「なんでも、ちょうど1週間おきに人がどんどん自殺していったさ。」

「自殺した人は全員、机の上に同じ本が置いてあったんだって」

連鎖殺人（後書き）

個人的に、世にも奇妙な物語が好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3225j/>

死者への手向け

2011年10月6日14時20分発行